

## 「入ってよかった～」～お客様の声をご紹介します～

「後から」でなく「すぐ」に。  
自転車事故でも  
警察に届け出を。

大阪市平野区在住  
70代 男性 自営業

市民共済の交通災害共済には自分が入る時に、妻や子どもも一緒に入り、今は孫の分も加入しています。もう30年以上になります。

平成26年に、息子がバイクで接触事故に遭い、続けて息子の嫁が自転車で転倒して、2回にわたり共済金の請求をさせていただきました。私が若い頃にも自転車で大きなケガをしたことがあったのですが、市民共済に入っていることを、すっかり忘れていたんです。なので今回は、きちんとご相談させていただきました。でも、息子の嫁の場合は、すぐに警察に届けを出さなかったのが、共済金は全額もらえませんでしたけどね。「自転車でこけたぐらいで警察なんて…」と思っていたんでしょう。これからは家族のみんなで気を付けたいと思います。

交通事故は自分がケガをした場合も困りますが、加害者になった時も大変ですよ。平成27年4月から自分が加害者になったときのためのプランもできると聞きましたので、ぜひ入りたいと思っています。

気を付けていても事故に遭わないとは限らない、

親身になって考えてくれる  
担当者との絆が一番大切。

大阪市北区在住  
60代 男性 飲食店経営

平成26年3月、大阪の阪急十三駅前で36店舗が焼ける火事で店舗兼住宅を失い火災共済金を請求させていただきました。以前は京橋で飲食店をやっていましたが、そこでも軒を連ねる中華料理店からの出火で火事に遭い、一生のうちに2度も火事を経験するなんて自分でもびっくりしています。京橋にいる時に、密集した地域に住んでいることのリスクをつくづく感じていましたから、十三で店を出す際は前回より共済金額を引き上げて火災共済に入っておりまして、とても助かりました。お陰ですぐに北区に店を出すこともできました。

火災共済は建物の構造や用途によっても掛金が違ってきますし、共済金の計算もとても複雑なので、担当者との信頼関係が一番大切だと感じています。どれだけ親身になって考えてくれているかということです。その点、市民共済の対応には大変満足しています。また、共済や保険は長い付き合いになるので、信用のおける団体かどうかにも気になります。市民共済は地域振興会とのつながりも深く、そういったところも安心しています。

当組合では皆様からの貴重なご意見・ご感想をもとに、より一層ご満足いただけるサービスの提供に取り組んでまいります。